

## 電子町内会だより meeting

### 岡山市情報水道実験の終了と今後について

去る平成18年2月28日をもって、岡山市情報水道実験が終了しました。

この事業は、平成13年度から実施されてきました。御南・西大寺地域において、当時としては、先進のインターネット接続回線であった光ファイバー回線を、下水道管を通じて、安価に施設しようという他地域に先駆けた試みでした。田中野田町内会だけでなく、多くの方々に参加していました。

特に、COLRAY（動画配信）に参加された方は多かったと思いますが、そのときに使われた認証の技術が、現在の光ファイバーを使った映画・アニメーションの動画配信に有効に使われているそうです。今現在どちらかの光ファイバー回線（フレッツ光やメガ・エッグなど）を使われておられる方は、最初の設定で情報水道と同じような認証の設定をされたのではないのでしょうか。（自動化されて分からなかったかもしれません）



そのほかにも、田中野田ではテレビ会議など様々な実験に参加してきました。そして、その多くが、現在実用化されているサービスやソフトに生かされています。岡山市情報水道実験開始当時は、まだ普及していなかった光ファイバーの呼び水として、期待されていた面も持ち合わせていましたが、その目的については、十分に達成されたと思われます。

また、この情報水道実験にあわせてモデル電子町内会の事業も行われ、御南・西大寺地域においては、その基盤となる役割を担っていました。現在使用されている回線は、今後は公民館などの公共施設のネットワーク用の回線として、また、下水道施設の監視用の回線として利用される予定です。

最後に、岡山市情報水道実験は終了しましたが、これまで多くの実験に参加していただいた田中野田町内の方々のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

1組 的場賢治

3月1日の山陽新聞「ちまた」欄に、心打たれる記事の投稿がありました。既に読まれておられる方も多いと思いますが、中尾様の了解を得て掲載させていただきました。

### 夫婦ともに病気、生きる喜びを感じる

中尾百合子

昨年11月に夫が食道がんの手術のために入院して、もう3ヶ月が過ぎました。定年後、3年目のことです。

町内のお世話、畑仕事、庭の手入れ、そして夕食の支度と“主夫”業に磨きがかかり、私が仕事から帰ったときには、テーブルの上に何品かの料理を並べて、好物の焼酎をおいしそうに飲みながらテレビを見るのが日課になっていました。

息子夫婦と一緒に医師から手術の説明を聞いた時には、あまりの恐ろしさで足がすくみ、息ができないほど胸が締め付けられ、涙があふれました。でも手術も無事成功しました。その後、肺炎やインフルエンザにかかったりはしたものの、やっと病状が落ち着き始めたある日、今度は私が肝機能障害で倒れ、入院を余儀なくされてしまいました。検査の結果、夫の入院以来飲んできた胃薬が体に合わなかったと判明。無理がきかない年齢にいつのまにかなくなってしまっていたことに気がきました。

夫も桜が咲くころには退院とのこと。食道を全部取り除き、のどに直接胃をつなぎました。食べ物を飲み込んでも、胃の上から、下にさすり下ろしながら1時間以上かけて食事をしなければなりません。

結婚して35年。特別に仲の良い夫婦ではなかったように思いますが、夫を助けてくださった病院の先生方に感謝し、今生きている喜びと命の大切さを感じながら、私も協力してリハビリに頑張っています。

【編集後記】 ▼寒く長かった今冬も、花便りとともに日増しに暖かくなり、心地よい季節となりました▼4月は年度の始まり、当町内会の各団体も新メンバーが決まり、新しい事業が始まります。役員の方々にはそれぞれの立場でご苦労いただくこととなりますが、町内の一人ひとりが協力し合い、より一層「助け合うまち・きれいなまち・楽しいまち」づくりが研鑽されることを願うものです▼先に行われました WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で王ジャパンが初代チャンピオンに輝いた。暗いニュースが多い中で久々に日本中が沸き返り、日本の名を世界に発信してくれた大会であったように思う▼世界の頂点に立ったといえ、トリノ冬季オリンピックにおけるフィギアスケートの荒川静香選手、苦戦続きの大会であっただけに溜飲を下げた方も多かったのでは。一世を風靡したあの「イナバウアー」は、今も話題の種になるほど名を広めた技と云える▼その「イナバウアー」。あの格好で見る光景はどんな世界があるのだろうか。山の姿も見る角度によって随分違って見えるように、われわれが気づかないものが見えるのかも▼人の持っている魅力も多種多様である。でも気付かないことも多い。もっと視野を広げる努力をしないとイケないことを教えられた気がする。（OS）